

# 専門実践教育訓練明示書

講座の名称	実務者研修(介護職員初任者研修修了者)													
実施方法	① 通学 ( 昼間・夜間・土日 ) ② <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">通信</span> スクーリング(回数 6 回)													
指定講座番号	4	8	2	3	1	—	1	9	2	0	0	3	—	0
講座の創設年月日	専門実践教育訓練給付金対象講座の指定期間					過去一年の講座実績	入講者数( 3,439 人)					修了者数 ( 3,439 人)		
	平成 25年 8月 1日					令和 4年 9月 30日まで								
訓練期間	1ヶ月					総訓練時間					323時間			
1. 教育訓練目標														
①取得目標とする資格の名称、目標レベル						<input checked="" type="checkbox"/> 業務独占資格・名称独占資格 ( 介護福祉士 ) <input type="checkbox"/> 職業実践専門課程 ( ) <input type="checkbox"/> キャリア形成促進プログラム ( ) <input type="checkbox"/> 専門職大学院 ( ) <input type="checkbox"/> 職業実践力育成プログラム ( ) <input type="checkbox"/> 情報通信技術関係資格 ( ) <input type="checkbox"/> 第四次産業革命スキル習得講座 ( ) <input type="checkbox"/> 専門職大学、専門職短期大学、専門職学科 ( )								
						教育訓練を通じて取得を目指す上記以外の資格等								
②①に係る資格・試験等の実施機関名称						厚生労働省								
③当該資格等を取得するための要件または受験資格等						3年以上の介護等の業務に関する実務経験があり、かつ実務者研修を修了すること。								
④当該技能・知識の習得が必須又は有利となる職種・職務及び習得された技能・知識が活用されている業界と活用状況						介護福祉士、ホームヘルパー、介護施設職員、訪問・通所事業所職員、在宅介護支援センター職員、等。 老人福祉施設・介護老人保健施設・在宅福祉サービス・身体障害者福祉施設等で、介護職員、ホームヘルパーとして活用される。								
2. 教育訓練の内容														
教科 (カリキュラム)							時間			使用教材名				
社会の理解Ⅱ							通信 275 時間			人間と社会 こころとからだのしくみ 介護Ⅰ 介護Ⅱ 医療的ケアの理論と実践				
介護の基本Ⅱ														
コミュニケーション技術														
介護過程Ⅱ														
発達と老化の理解Ⅰ														
発達と老化の理解Ⅱ														
認知症の理解Ⅱ														
障害の理解Ⅱ														
こころとからだのしくみⅡ														
医療的ケア														
介護過程Ⅲ(スクーリング)							45 時間							
医療的ケア(演習)(スクーリング)							3 時間							
合計							323 時間							
3. 受講者となるための要件(この講座を受講するために必要とされている条件など)														
①受講するに当たって必要な実務経験等						特になし。								
②受講者が受講に最低限有しておくべき資格・技能・知識等の内容及びその水準						介護職員初任者研修修了者								
③その他						特になし。								

〔特記事項〕

--

# 専 門 実 践 教 育 訓 練 明 示 書

## 4. 教育訓練の受講の実績及び目標達成の状況

### (1) 資格取得状況

① 前年度の修了者数	3,439	人			
② ①に係る教育訓練の入講者数	3,439	人			
③ ②のうち目標資格の受験者数	2,796	人	受験率(③/②)	81.3	%
④ ③のうち合格者数	2,275	人	合格率(④/③)	81.4	%
⑤ ①(修了者数)のうち就職者数 ※1	6	人			
⑥ ①(修了者数)のうち在職者数 ※2	2,911	人			

※1 前年度の修了者のうち、受講開始時に職に就いていなかった者で修了後に就職した者。

この場合、就職したとは、臨時的な仕事に就職した者は含めない。

※2 受講開始時に既に職に就いていた者で、卒業後も引き続きその職にある者及び受講開始時に既に職に就いている者で、修了後に別の職に転職した者。

### (2) 受講修了者による講座の評価等

① 回答者総数	2,438	人			
② 受講開始時の就業状況等	1 正社員	1,327			
	2 非正社員、派遣社員	836	人		
	3 その他の就業(自営業等)	28	人		
	4 非就業	97	人	②B: 非就業者計	
③ 就業中の受講者による講座の評価	1 処遇の向上(昇進、昇格、資格手当等)に役立つ	1,333	人	③の回答数合計 ※②Aと同数(又はそれ以下)	
	2 配置転換等により希望の業務に従事できる	59	人		
	3 社内外の評価が高まる	222	人		
	4 円滑な転職に役立つ	243	人		
	5 趣味・教養に役立つ	100	人		
	6 その他の効果	164	人		
	7 特に効果はない	204	人		
④ 就業していない受講者による講座の評価	1 早期に就職できる	37	人	④の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下)	
	2 希望の職種・業界で就職できる	45	人		
	3 より良い条件(賃金等)で就職できる	34	人		
	4 趣味・教養に役立つ	15	人		
	5 その他の効果	20	人		
	6 特に効果はない	6	人		
⑤ 受講者の就業状況	1 受講中又は受講修了後3か月以内に就職した	102	人	⑤の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下)	
	2 受講修了後3～6か月以内に就職した	32	人		
	3 受講修了後6～12か月以内に就職した	15	人		
	4 就職していない	67	人		
⑥ 講座の全体評価	1 大変満足	676	人	⑥の回答数合計 ※①と同数(又はそれ以下)	
	2 おおむね満足	1,363	人		
	3 どちらとも言えない	188	人		
	4 やや不満	43	人		
	5 大いに不満	21	人		

(3) 受講者、受給者の修了後の状況(就職等の状況、受講修了者による教育訓練への評価状況、受講後の職務内容変化等の処遇改善の状況、一定期間内でのキャリアアップ成果やその事例、在籍・採用企業の側の評価 等)

## 5. 教育訓練の受講による効果の把握及び測定の方法並びにそのレベルを受講者に対して明らかにするための具体的な方法

1に掲げた教育訓練目標に対する技能・知識のレベル到達度の把握・測定方法	スクーリングにおいて各科目の評価ポイントに従って知識・技術等の習得度を確認し、通信添削課題(科目免除がある者は免除後の課題数)を全て提出し基準点70点以上、スクーリング(科目免除がある者は免除後の時間数)に全て出席、実技評価試験に合格(70点以上)することをもって到達度を把握する。
(通信制講座の場合) スクーリングの実施場所、時期、期間・回数	6日間のスクーリングを随時、各地域で実施する。

# 専門実践教育訓練明示書

<b>6. 受講効果の把握方法</b>																
(1) 受講認定基準 (6ヶ月ごとの出席率・定期試験、進級試験等の具体的基準)	通信添削課題(科目免除がある者は免除後の課題数)を全て提出し基準点70点以上、スクーリング(科目免除がある者は免除後の時間数)に全て出席、実技評価試験に合格(70点以上)すること。															
(2) 受講認定基準に係る、教育目標に対する技能・知識のレベル到達度把握・測定方法	各科目ごとに評価のポイントを設け、それによって習得度の確認を行う。															
(3) 修了認定基準 (出席率・修了認定試験等の具体的な基準)	通信添削課題(科目免除がある者は免除後の課題数)を全て提出し基準点70点以上、スクーリング(科目免除がある者は免除後の時間数)に全て出席、実技評価試験に合格(70点以上)すること。															
(4) 修了認定基準に係る、教育目標に対する技能・知識のレベル到達度把握・測定方法	スクーリングにおいて各科目の評価ポイントに従って知識・技術等の習得度を確認し、通信添削課題(科目免除がある者は免除後の課題数)を全て提出し基準点70点以上、スクーリング(科目免除がある者は免除後の時間数)に全て出席、実技評価試験に合格(70点以上)することをもって到達度を把握する。															
<b>7. 受講中又は修了後における受講者に対する指導及び助言並びに支援の方法</b>																
(1) 受講中の者に対する習得度・理解度に関する具体的な助言・指導の方法	講義と演習を一体的に行い、学習効果を高める。 各科目ごとに評価のポイントを設け、それによって習得度の確認を行う。															
(2) 受講中又は修了時における資格取得・就職への具体的なバックアップ体制 (例: 資格取得関連情報や資格関連職種の人事情報の提供方法、早期就職に向けた具体的な相談体制の整備状況)	福祉関連の求人提供、履歴書の書き方サポート															
<b>8. その他の事項</b>																
指定教育訓練実施者名 及び代表者名	株式会社日本教育クリエイト		(代表者名: 鳥居 敏)													
住所及び連絡先	東京都新宿区西新宿1-23-7 新宿ファーストウエスト7F	TEL 03-3343-2916														
施設名称及び施設長名	三幸福祉カレッジ		(施設長: 鳥居 敏)													
住所及び連絡先	東京都新宿区西新宿1-23-7 新宿ファーストウエスト7F	TEL 03-3343-2916														
苦情受付者	氏名 清水 昭宏 所属 三幸福祉カレッジ	事務担当者	氏名 正木 光國 所属 三幸福祉カレッジ													
連絡先	TEL 03-3343-2916	連絡先	TEL 03-3343-2916													
専門実践教育訓練経費	1. 専門実践教育訓練給付金の対象となる経費 (① + ) 109,670 円															
支払い方法	① 一括払	① 入学料(税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。)	0 円													
	② 分割払	② 受講料(税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。)	<table style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><td>第1期</td><td style="text-align: right;">109,670 円</td></tr> <tr><td>第2期</td><td style="text-align: right;">円</td></tr> <tr><td>第3期</td><td style="text-align: right;">円</td></tr> <tr><td>第4期</td><td style="text-align: right;">円</td></tr> <tr><td>第5期</td><td style="text-align: right;">円</td></tr> <tr><td>第6期</td><td style="text-align: right;">円</td></tr> <tr><td colspan="2" style="text-align: right;">(うち、必須教材費 13,200 円)</td></tr> </table>	第1期	109,670 円	第2期	円	第3期	円	第4期	円	第5期	円	第6期	円	(うち、必須教材費 13,200 円)
第1期	109,670 円															
第2期	円															
第3期	円															
第4期	円															
第5期	円															
第6期	円															
(うち、必須教材費 13,200 円)																
③ 両方可	2. 専門実践教育訓練給付金の対象外となる経費 (① + ② + ③ + ④) 15,300 円															
	① 任意の教材費(税込額)		円													
	② 実習等に伴う交通費・宿泊費(税込額)		円													
	③ 施設維持費(税込額)		円													
	④ その他(介護福祉士国家試験受験料)(税込額)		15,300 円													
	3. 総額 (1+2) (税込額)		124,970 円													